

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2018年9月25日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2 -

パラファンクションに関連した咬合崩壊と思われる患者に咬合再構成を行った症例

古田洋介 みすみ歯科クリニック

■略歴

1.

■所属団体

日本臨床歯科医学会 熊本支部

■抄録

健全な顎口腔系を長期に維持するためには、炎症のコントロールとともに力のコントロールも不可欠である。しかし、パラファンクションを有する患者の場合、一般的な咬合関係に加えて、異常な力の大きさや方向等の問題があり、診査、診断、治療計画をさらに難しくする。また、別の歯科疾患を誘発したり、既存の疾患の悪化を助長していると思われる様な臨床経験も少なくないことから、パラファンクションは、結果的に徐々に顎位を変化させ、咬合崩壊をもたらす大きな要因になる場合も多い様に思う。

それに対して、力を受ける所を強くしたり、逃がしたりしながら、上手く折り合いを付けてコントロールしようとするが容易ではない。

今回のケースもそのような経緯で咬合崩壊が進んだと診断し、力のコントロールに留意して、インプラント治療を含めた全顎的咬合再構成を行ったケースである。

(キーワード)

パラファンクション、力のコントロール、ゴシックアーチ（アンテリアジグによる）、水平的顎位